

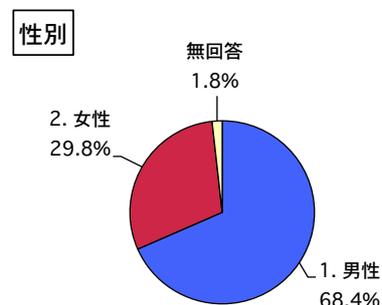
日本放射線影響学会 2021 年度 キャリアパス・男女共同参画アンケート集計結果

実施期間：2021年9月22日～10月25日（Google フォームを利用し、Web 経由で実施）

有効回答数：57 件

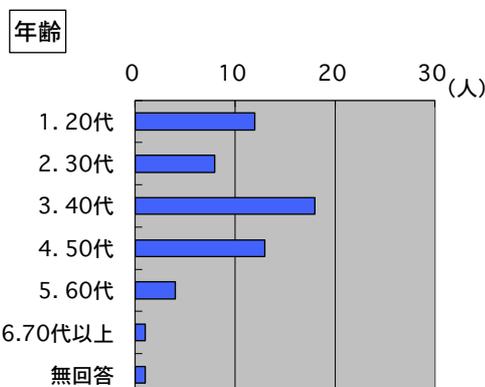
Q1) 性別

性別	n	(%)
1. 男性	39	68.4
2. 女性	17	29.8
無回答	1	1.8
計	57	



Q2) 年齢

年齢	n	(%)
1. 20代	12	21.1
2. 30代	8	14.0
3. 40代	18	31.6
4. 50代	13	22.8
5. 60代	4	7.0
6. 70代以上	1	1.8
無回答	1	1.8
計	57	

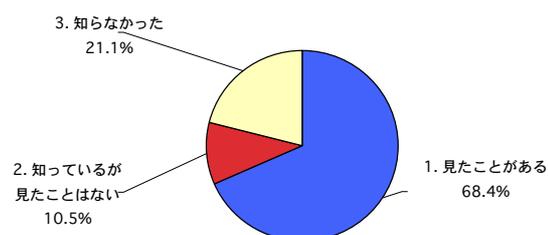


Q3) キャリアパス・男女共同参画委員会 Web ページについて

(https://www.jrrs.org/about/gender_equality.html)

キャリアパス・男女共同参画委員会Webページ	n	(%)
1. 見たことがある	39	68.4
2. 知っているが見たことはない	6	10.5
3. 知らなかった	12	21.1
計	57	

キャリアパス・男女共同参画委員会Webページ



Q4) 第8回キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー

『理系学生のための2020年代のキャリアパス』

(2021年9月22日、オンライン(Zoom)開催) への参加

第8回キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー『理系学生のための2020年代のキャリアパス』	n	(%)
1. 参加した	38	66.7
2. 参加しなかった	19	33.3
計	57	

第8回大会キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー『理系学生のための2020年代のキャリアパス』



Q5) 第8回キャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナー『理系学生のための2020年代のキャリアパス』の感想(自由回答)

セミナー全体を通して：

- ・本当に楽しいイベントであり、また勉強になる話をたくさん聞いて良かった。
- ・とても興味深いセミナーでした。ありがとうございました。
- ・よき出会いであったと思います。
- ・様々なキャリアの方のお話を聞くことが出来て、非常に勉強となった。このようなテーマであれば、高校生にも聞いて頂き、御自身のキャリアパスを考えて頂く機会を提案しても良いかと思いました。
- ・若手研究者にはとても参考になる内容だと思います。
- ・博士取得後のキャリア選択としてとても参考になるセミナーでした。講師の先生方の話もとてもよかったです。
- ・博士号取得後や定年後の様々なキャリアについて知ることができ、自分自身や指導している若手のキャリアパスに関して大変参考になりました。
- ・自身は博士課程の院生ですが、研究者の道だけでなく、博士号を取った後に省庁や研究基盤をマネジメントする様な職に就くといった進路もあることを知ることができて、キャリアパスに関する視野が広がったと思います。
- ・博士課程を修了後にアカデミア以外の場で活躍している方のお話を伺う機会は、今までに無かったため、良い機会になりました。
- ・学生へのキャリア指導への参考となった。
- ・講師のバックグラウンドが多彩でさまざまな視点からの話がきけたことが、大変面白かったです。
- ・非常にバラエティに富んだキャリアの方が参加されており、興味深いセミナーでした。
- ・とても多様性のある講演者で、研究職だけにとらわれない広い視野を得るきっかけとなりました。
- ・様々な分野の方のお話が聞いて大変参考になったと思いました。
- ・いつも新鮮なパネリストの企画になっていたいへん参考になります。
- ・普段は聞くことができない、多様な分野の講師陣のキャリアに関するお話を聞いたことは有意義でした。
- ・バランスのとれた外部講師の人選に感銘を受けました。
- ・どのご講演も大変おもしろく、博士後の進路には様々なものがあることがわかりました。
- ・4名の年齢や性別、現在の職業、それまでのキャリアが全然異なり、いろいろな話が聞けたのと同時にメッセージは意外と同じだったことで、どのような職種でも同じ考え方なのだと感じ、とても面白かった。
- ・各分野で自分らしくリーダーとしてご活躍されているスピーカーの方々の講演は、情熱があり大変刺激的で勉強になりました。分野はことなっても、リーダーには共通、共鳴する部分があるのだなと感じられたパネルディスカッションもおもしろかったです。
- ・4人の方それぞれのキャリアを形成されてきた経過、節目節目でどのように考え、判断されてきたかを伺うことができ大変参考になりました。
- ・今後、人生の分岐点に立った際に、決断するときの考え方や大事にすべきことを学び、考える良い機会となりました。企画してくださり、ありがとうございました。

- ・さまざまなバックグラウンドをお持ちの先生方が、それぞれの道に進み、その時々ターニングポイントが必ずある。人生ターニングポイントがいくつかは必ずあるけど、それをどの様に選択・決断をするのかも人それぞれ。自身は、すでにいくつかのターニングポイントを過ぎた立場ではあるが、いろいろな分野の方々の話を聞くことは、自分自身と向き合うきっかけにもなり、良かった。
- ・日頃なかなかお話を聴けないような講師が選ばれており、大変新鮮で、勉強になりました。パネル討論では、学生さんや若い参加者にとどまらず、シニア世代に向けての励ましの言葉もさりげなく含まれていて、感銘を受けました。ブレイクアウトセッションで参加者が各講師のルームを訪問して質問をするという設定も素晴らしかったと思います。ご準備は相当大変だったことと思います。企画・運営くださった委員長の細谷先生をはじめとするキャリアパス・男女共同参画委員会の委員会の皆様、本当にありがとうございました。
- ・講師の顔ぶれが新鮮で、若手に限らず、それ以上の年代にとっても、得るものが多いセミナーだったと思います。ブレイクアウトセッションは、講師の先生と対面で話しているような雰囲気を楽しめました。
- ・内容が濃く、大変勉強になりました。ブレイクアウトセッションで指名いただき、グループで対面しているような雰囲気の中で講師の先生に直接質問が出来、ワクワクしました。

時間がもう少し欲しかった：

- ・とても良かったと思います。毎年毎年そうですが、多大な時間を用いて準備された方々に心より感謝申し上げます。用意された質問等も素晴らしすぎて、これは私のみだと思いましたが、その回答も素晴らしすぎるような？印象が一部ありました。またブレイクアウトの時間は良かったのですが、時間が短すぎて、内容が途切れてしまったこともあり、可能ならば時間がもう少し長い方が良かったかと感じています。改めてありがとうございました。
- ・大変興味深かった。ご講演いただいた方々と個別にお話できる時間がもっと長いといいと感じました。

他のセッションが重ならない時間帯に設置を希望：

- ・とても興味深いセミナーでした。今回のセミナーは学生や若手がメインターゲットだったように思いますので、学生や若手が演者として参加する award session と重ならない時間帯に設置することを大会側と相談して設定いただけるとさらに良かったかなと思います。

Q6) 次回以降のキャリアパス・男女共同参画委員会企画セミナーの内容についての提案・要望
(自由回答)

セミナーの開催形式について：

- ・すべての年代の会員にとって、楽しく参加でき、人生を考えることができる会としてますます発展していくように祈っています。多様な年代のパネリストを迎えてのパネル討論、参加者アンケート、外部講師による講演、グループ懇談など、この3~4年でいろいろな良い取り組みや工夫があったので、今後も、その年の状況に合わせて、これらをうまく採り入れていくといいと思います。
- ・これまでのように、学生・若手からシニアまで幅広い層が集まり、交流できるようなセミナーを続けていただくことを期待しています。

- ・世代間の意見をまとめて議論する企画などがもっとあっても良いと思います。

セミナーで扱うテーマについて：

<キャリアパス関係>

- ・準備が大変かとは思いますが、昨年のようなアンケートによる統計情報の形でキャリアパスについて情報が得られると有難いなと思います。
- ・次回ではなく数年後と思いますが、また 2019 年の企画セミナーのような、影響学会員のキャリアに対する生の声を聞くセミナーも良いと思います。
- ・今回のような、研究者とは異なる分野でキャリアパス、ダイバーシティの促進を進めている（結果的でもつながっている）一流のスピーカー、専門家の方の話を聞く企画の第 2、第 3 弾をしていただければと思います。博士課程修了後の進路に希望がもてず、最初から就職を選択する修士の学生が、博士に進学する後押しに少なくなるかもしれないと感じました。
- ・引き続き、博士号取得後の多様なキャリアパスのロールモデルをご紹介いただけると幸いです。
- ・学生は「博士に進学したらどうなるのが典型的なのか」というのが気になっているようですので、いくつか典型的なケースを紹介していただけるといいのかと思いました。もちろんそれと同時に特殊なケースとして多様なキャリアパスがあるのも確かですので、両者をバランスよく見せていただけると、博士に進学することへの根拠のない不安を感じる学生は減るのではないかと思います。
- ・セミナーがよくオーガナイズされて、学ぶところが多かった。研究者として残っているキャリアもよろしくお願ひします。たくさん経験することが将来必ず役に立つことをアピールできたかと思っています。ありがとうございました。
- ・アカデミックから民間企業へのキャリアパスなども取り上げていただければと思います。
- ・海外留学や在任経験ある方のキャリアパスを聞いてみたいと思います。
- ・研究室の選び方特集！研究者のワークとライフ（シニア編）

<男女共同参画・ワークライフバランス関係>

- ・研究者におけるライフワークバランスについて。特に、任期制で勤務地の移動がある年代をどう乗り切るのか。
- ・介護についても取り上げてほしい。
- ・格差社会における多様性を尊重するコミュニティのありかた。

他のセッションがない時間帯の開催が望ましい（大会の協力も必要）：

- ・このセミナーは大変よくオーガナイズされ、参加者が楽しめる工夫も盛り込まれているので、毎年参加することを楽しみにしています。しかし、今回の大会では、同じ時間帯に別セッションが組まれていたためにやむを得ず欠席することになり、残念でした。次回以降は、希望者が全員参加できるような時間帯にこのセミナーが配置されるよう、大会側にもご協力をお願いできればありがたいです。
- ・今回の大会では、このセミナーと全く同じ時間帯に、若手向けの Award Session や一般口演などの別のセッションが組まれていたことが残念でした。（気のせいなのか、常連の先生の出席も少なかったように感じました。）次の第 65 回大会では、2 年前の京都大会のように、同時間帯に他のセッションを入れない形でこのセミナーを開催していただけることを祈っています。

Q7) 第 65 回大会 (2022 年 9 月 15 日～17 日、大阪で開催予定) での開催地での保育サービスの利用を必要とされる未就学児の人数 (現地開催されると仮定してお答えください)

計 2 人

Q8) 第 66 回大会 (2023 年秋に千葉近郊にて開催予定) での開催地での保育サービスの利用を必要とされる未就学児の人数 (現地開催されると仮定してお答えください)

計 0 人

Q9) 本学会では、男女共同参画に関わる大会参加支援の 1 つとして、年次大会参加中に開催地における託児サービス利用した学会員に対して託児費用を補助する「託児費用援助制度」を設置しています。他に、多様な事情やニーズを抱える会員が学会活動により参加しやすくなるためのアイデアやご提案があれば、ご入力ください。(自由回答)

大会参加時の託児支援について：

- ・援助制度がしっかりしていれば参加もしやすいと思うので、現状のままで良いと思います。
- ・「託児費用援助制度」ができたことは大きな進歩だと思いますので、ぜひ存続させていただきたいと思います。
- ・大会参加費の説明中に、【今回の参加費の一部は「託児費用援助制度」に活用いたします。】と表記することで、参加者全員に「託児費用援助制度」のことが伝えられると思いました。

年次大会に関する要望 (オンライン併催、バリアフリー化、子連れ参加、他)：

- ・今大会はオンライン開催になり参加が可能になった会員もいるのではないかと思います。難しいですが、(特定のセッションのみ) ハイブリッド開催などを年次大会に働きかけるなどの取り組みはあり得るのかと思いました。
- ・次回大会現地開催となった場合に参加できない会員のために、シンポジウム等の主要セッションについては、Web 併用を検討してほしい。
- ・育児中、介護中など出張を伴う学会参加が難しい方にも優しい、オンラインも併用したハイブリッド学会。
- ・ワークライフバランスや心身の障害を持った会員が活躍しやすいようにするため、大会のオンライン併催を一般化する。英語話者に親切な内容を増やす。
- ・オンライン参加の拡充 夜セッション (18:00～) モーニングセッション (7:00～)
- ・学会プログラムの調整が困難かもしれませんが、託児サービスが必要となる会員の参加を支援するためには、17 時くらいで学会を終了するなどの検討も必要かもしれません。
- ・(今後も大会が部分的にオンライン開催されるのであれば) オンラインの会議システムに慣れていない人が発表する際に、発表や録音を支援する仕組みを作るなど
- ・大会のバリアフリー化を進め、全ての希望者にとって参加しやすい大会になっていくことを期待しています。
- ・光畑先生がおっしゃっていた学会に子どもを連れてこられていたのがヒントというのは、どういって連れていき方だったのでしょうか。気になっています。影響学会では一般的ではないですよ。海外での学会のように、少なくとも静かにできる子ども (小中学生?) は会場へ入室可にすることを検討してはどうかと思いました。

Q11) キャリアパス・男女共同参画に関する意見（自由回答）

委員会活動について：

- ・毎年新鮮な内容のセミナーを企画してくださり、本当にありがとうございます。進行も暖かく、心が通っており、随所で委員会の結束力の強さを感じました。
- ・会員の多様性に配慮された活動を着実に展開されており、本当にありがとうございます。
- ・学会全体を活性化させる重要な活動だと思いますので、今後も頑張ってくださいたく思います。
- ・とても重要な活動だと思いますので、これからもよろしく願いいたします。
- ・他学会と比較しても活発に活動していると思います。引き続きよろしく願いします。
- ・（委員会の）名称をキャリアパス・ダイバーシティ委員会としてはいかがでしょうか。

セミナーへの期待：

- ・毎年、楽しい企画をされて本当にありがとうございます。途切れることなく、毎年開催していただきたいです。キャリアパス・男女共同参画委員会の皆様、お疲れ様でした。
- ・毎年、様々な趣向を凝らして楽しい企画セミナーを開催いただき、本当にありがとうございます。
- ・充実したセミナーでした。企画いただき、本当にありがとうございました。
- ・年次大会におけるセミナーを通して、キャリアパスの考え方や男女共同参画に関する取り組みを勉強することができ感謝しております。
- ・若い研究者の他、シニアの方にもご自身の研究キャリアについてご講演いただく機会があっても良いかと思いました。
- ・毎回楽しみにしています。どうしたら若い研究者を増やすことができるか、魅力ある研究テーマが必要なのかもしれませんね。
- ・若手研究者が減っている放射線関連分野の学会ではどこもこのような企画を模索していると思います。とは言え、個々の学会で行うのも非効率なので、是非アイソトープ協会や放射線研究連合（JARR）などと連携して多くの若手が参加できるようにしていただければと思いました。
- ・今大会での企画大変お疲れ様でした。興味深い内容をありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・これからのセミナーも楽しみにしています。
- ・今回は、セミナーに参加できませんでしたが、学生等へ積極的に参加するように案内したいと思います。

今後の活動の方向性について：

- ・男女共同参画については、LGBTを含めた広い意味での共同参画のための取り組みに着手するのもいいのではないかと思います。

貴重なご意見を多数いただき、大変有難うございました。

今後も、当委員会の活動にご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本放射線影響学会
キャリアパス・男女共同参画委員会